

卓 話

平成 25 年 3 月 19 日

「名古屋NGOセンターの活動と国際協力活動について」

特定非営利活動法人 名古屋NGOセンター

理事長 西井和裕様

○なぜ国際協力なのか

・国内の課題

- 貧困、格差、高齢化、地域崩壊
- 対策＝福祉政策（生活保護、年金等）、
経済政策（まちづくり、地域経済活性化）、
農業政策（限界集落、食糧自給、地産地消等）、
雇用・労働政策（非正規雇用、雇用創出等）
- 貧困や格差を作り出す構造的な問題

・国際的な課題

- 貧困、格差、保健衛生、感染症、教育、水等
- 対策＝ミレニアム開発目標（MDGs）、政府開発援助（ODA）、NGOの開発協力
- 貧困や格差を作り出す構造的な問題

・貧困や格差を作り出す構造

- 植民地支配からの独立→資源の輸出、工業製品の輸入
- 1980年代＝債務の増大
- 1990年代以降＝資本主義システムのグローバル化（規制緩和、サービスの商品化、公共圏の縮小）

- ・ 構造を同じくする課題や問題の解決のために相互に協力する→国際協力を超える



○名古屋NGOセンターとは

- ・ 1989年発足の第三世界交流センターが前身
- ・ 発足：1995年
- ・ 国際協力NGOが活動しやすい環境をつくる、NGOを支援するNGO＝中間支援組織
- ・ 活動の理念：名古屋NGOセンター憲章（ステファニ憲章）

“開発、人権、環境などの課題や問題の解決に、市民が主体となって地球規模の視点で取り組む活動を支援する。支援を通して、平和な社会、人権が守られる社会、人々の参加によって創られる社会、調和のとれた社会、地球規模の視点で行動する社会の実現をめざす。”

○名古屋NGOセンターの活動

・ネットワークキング

- JICAアドバイザー派遣事業
- 東日本大震災緊急救援・復興支援
- 横のつながりを作る勉強会
- スタディツアー合同説明会

・コンサルテーション

- NGO相談員

・情報収集・発信

- ホームページ、メールマガジン
- 会報「さんぐりあ」の発行

・調査・研究

- NGO研究会

・政策提言

- 政策提言委員会

- NGO外務省定期協議会（ODA政策協議会、連携推進委員会）
- NGO・JICA協議会
- 中部NGO・JICA中部協議会
- ・開発教育
 - 国際理解・開発教育委員会
 - ESD推進プログラム
 - 国際理解教育セミナー
- ・人材・活動育成
 - NGOスタッフになりたい人のためのコミュニティ・カレッジ（Nタマ）
 - 地域NGOの広報力を高める研修
 - 国際協力カレッジ
 - 東海地域NGO活動助成金
 - JICA地域提案型研修
- ・その他
 - ステファニ賞事務局

○名古屋NGOセンターの特色ある活動

- ・東日本大震災緊急救援・復興支援に関わる活動
- ・東海地域NGO災害ネットワークの構築に関わる活動
- ・NGOスタッフになりたい人のためのコミュニティ・カレッジ（Nタマ）
- ・地域NGOの広報力を高める研修
- ・国際協力カレッジ
- ・政策提言活動＝外務省・JICAとの定期協議会、市民と政府のTPP意見交換会

○ONGOの国際協力活動について

- ・加盟団体の活動分野
 - 教育（8）
 - 環境（6）
 - 人権（5）
 - 平和（3）
 - 保健・医療（6）
 - コミュニティ開発（3）
 - 農村開発（3）
 - 国際理解教育（3）
 - NPO・NGO支援（3）
 - 多文化共生（3）
 - その他の活動（7）

○特色のある団体の活動

1.（公益財団法人）アジア保健研修所（AHI）

- ・ 活動内容：「自立のための分かち合い」を合い言葉に、アジアからの研修生を受け入れて、その地域に合った社会づくりを支援している。
- ・ 国際研修：アジア各地で草の根の保健ワーカーの育成
- ・ 2013年3月16日ピースクリエイターセミナー：カンボジアとフィリピンの元国際研修参加者の活動を通して、人々が自らの手で平和を取り戻すプロセスを学ぶ。
- ・ 国内活動：オープンハウス、AHI講座、アジアの地域づくりワーカーとの交流会

2.（特定非営利活動法人）ソムニード

- ・ 活動内容：主にインド、ネパールの農山村や都市スラムで地域づくりに取り組んでいる。特に地元住民が主体的に取り組むためのコーディネートを得意とする。
- ・ 地域づくり、コミュニティ開発（インド、ネパール）

- スラム女性が運営するマイクロファイナンス協同組合 Visakha Vanitha Kranthi (VVK)
- のマネジメント支援
- 地域住民主導による小規模流域管理 (マイクロ・ウォーターシェッド・マネジメント) : 村人の手による森や水資源の再生と保全
- 森林再生を通じた共有資源管理とコミュニティ開発
- パグマティ川 (ネパール) の浄化と環境教育による地域づくり
- ・ 岐阜県飛騨地域での地域づくり
 - コミュニティスペース「まちづくりスポット飛騨高山」のたちあげ・運営 : 地域活性化のサポート施設、大和リース株式会社との協働 (CSR) でNPOを立ち上げる。
- ・ 人材育成 : コミュニティファシリテーター研修他

3.東日本大震災被災者支援活動

- ・ (特活) チェルノブイリ救援・中部
 - 南相馬市における放射能測定センター設置と運営
 - 南相馬市内の放射線測定作業
 - 放射線量率マップ作り
 - 福島の農地の再生⇔ウクライナの汚染地ナロジチの再生=菜の花プロジェクト
- ・ (認定) アジア日本相互交流センター・ICAN
 - 宮城県東松島市の仮設住宅、在宅被災者、子どもへの支援
- ・ (一財) 日本国際飢餓対策機構
 - 宮城県仙台市、名取市の仮設住宅への「置き葉プロジェクト」
 - 福島の人々への支援「ふくしまHOPEプロジェクト」: 県外での保養、保護者同士の交流
- ・ (特活) イカオ・アコ
 - 宮城県気仙沼市、南三陸町、陸前高田市を中心に災害時乳児支援ボランティア活動を行なう「ピースジャム」を支援する活動
- (特活) ホープ・インターナショナル開発機構
 - 宮城県栗原市、福島県福島市の拠点倉庫からの支援物資の配布
 - 馬場中山の漁業インフラ復興支援
- ・ (特活) レスキューストックヤード
 - 宮城県七ヶ浜町にボランティア活動拠点を設置
 - ボランティアバスの運行
 - 仮設住宅支援
 - 集会所の足湯サービス

○岐阜中ロータリークラブへの期待

- ・ ホームページ: ロータリーとはどのような団体? = 「人道的な奉仕を行いあらゆる職業において高度の道徳的水準を守ることを奨励、世界における親善と平和の確立に寄与することを目指した実業人や専門職業人が世界的に結び合った団体」と定義され・・・
- ・ 4つの奉仕活動: クラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕
- ・ 卓話: 「コートジボワールの子ども達に愛の靴を」「マラウイに蚊帳を贈る」「コートジボワールとの国際交流について」「われら地域市民・地球市民」
- ・ もしロータリークラブが国際協力に乗り出すとしたら
 - 直接現地の団体を支援する
 - 日本のNGOの活動を支援する
 - まずは現地は足を運ぶ
 - 人々と生活してみる
 - 人々の話に耳を傾ける
 - 施しではなく、相互の理解と協力を追求する